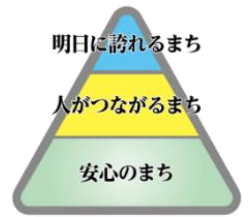


区の目標(何をめざすのか)

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現



区の使命(どのような役割を担うのか)
<ul style="list-style-type: none"> 区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現 地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実 水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成



令和4年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- 「幸せになれるまち、都島区」の実現をめざします。
- 「教育力向上区宣言」を通して、教育力の高いまちの実現をめざします。

重点的に取り組む主な経営課題(様式2)

経営課題1 安全・安心のまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(4年度予算額)
災害時の備えなど意識と行動が伴うよう、区民に対して、防災・減災の知識を高める啓発活動を進める必要がある。	(防災のまちづくり) 出前講座等での啓発や、広報誌、SNS等の様々な媒体を活用した情報発信を行うなど区民の防災意識の向上に取り組む。	(自助の取組みの推進) 日頃からの災害への備えや、迅速な避難行動につなげていくため、高齢者や子育て層など支援が必要な世帯に向けた啓発活動や、広報誌、SNS等を活用した情報発信に取り組む。(605千円)

経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(4年度予算額)
子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての不安感・負担感を軽減するため、地域の子育て情報を周知するとともに、虐待相談を含む相談窓口を拡充する必要がある。	(安心して子育てできるまちづくり) 子育てに不安を持つ保護者等が気軽に相談できるよう、対面での相談に加え、SNS等を活用した子育て支援を推進する。	(子育て相談体制の充実) 子育ての不安感や負担感を軽減するため、様々な機会をとらえて相談できる窓口等を周知し、臨床心理士等の有資格者が専門性を活かし、相談に応じる。(6,585千円)

経営課題3 明日に誇れるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(4年度予算額)
学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要がある。また、経済的な理由等で学習面での機会が少ない子どもに対する直接的な支援が必要である。	(未来の都島を担う人材育成) 学校内外で、子どもを支える環境の充実に向けて取り組む。	(子どもを支える環境の充実) 経済面や家庭環境に課題を抱える小学生をサポートするため、学習支援・悩み相談を行う居場所を区内全9地域に開設する。(7,376千円)

経営課題4 区役所力の強化

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(4年度予算額)
行政や地域活動の情報を、読み手視点でわかりやすく、かつ対象に応じた提供が必要である。	(区民の声が区政に反映される仕組みづくり) すべての区民に行政サービスや地域活動の様子をわかりやすく提供するとともに、読み手視点に立った情報をタイムリーに発信する。	(広報の強化) 広報誌を全戸配付し、区民にわかりやすい情報を提供する。特に若年層に関心を持ってもらうよう誌面を工夫するとともに、ホームページやSNS等を効果的に活用する。(18,699千円)

市政改革プラン3.1に基づく取組等(様式3)

主な取組項目	取組内容
—	—
—	—
—	—
—	—

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

区運営方針に掲げる各経営課題の戦略ごとの具体的取組については、着実に推進できており、目標は概ね達成し、一定の成果を得ることができたと認識している。

(安全・安心のまちづくり)

防災のまちづくりについては、コロナ禍による社会的影響が限定的となってきたことから、自助・共助の重要性を広めるため、広報誌での情報発信のみならず、出前講座等の機会において、災害への備えの重要性を理解してもらえよう、わかりやすい啓発活動を強化していく。

防犯のまちづくりについては、警察と連携した防犯啓発活動の継続や、SNS等による積極的な情報発信などにより、区内犯罪発生件数が減少しており、区民の防犯意識も浸透しつつある。コロナ禍による社会的影響が限定的となってきたことから、効果的な啓発のため、警察との連携を強化したうえで、各種イベントの開催や告知に力を入れていく。

安全で美しいまちづくりについては、各種取組の有効性はあるものの、環境美化活動参加者からは京橋地域の喫煙マナーが十分に浸透していないという意見が多いため、喫煙マナーの意識向上に向けた啓発活動及びSNS等を通じた情報発信の内容について、喫煙禁止地区の全域への拡大を踏まえた見直し等を行っていく。

(人と人がつながり、助け合うまちづくり)

コミュニティ豊かなまちづくりについては、区民まつりにおいて、若い世代の共創の観点からストリートダンスコンテストを実施し、若年層参加のきっかけにつなげるとともに、区広報誌をはじめFacebookやYouTubeなどSNSを活用して地域活動の情報発信を行うことにより、地域住民の地域活動への理解促進に努めた。また、地域の課題を考えるまちづくり講習会や会計説明会などを実施し、地域の自律的な取組が着実に進められるよう支援を行った。

引き続き地域活動を通じた人と人とのつながりの機会の提供のあり方などの検討を進めるとともに、第一層支援や新たな担い手の参画促進などを行うことでコミュニティ豊かなまちづくりに向けた取組を進めていく。

地域福祉コーディネート事業については、区民アンケートにおいて地域の見守り活動があることによって安心して暮らし続けられると回答した割合は、令和3年度と同じ数値であり目標には到達しなかった。引き続き「身近な相談窓口」のみならず、地域の見守り活動拠点として、地域福祉コーディネーターが調整役となって見守り活動を行っていることをアピールしていく。

子育て支援については、地域の子育て情報の周知や相談窓口の拡充を行い業績目標は達成しているが、子育ての負担感・不安感は子どもの成長とともに増加していくため、引き続きの取組が必要である。

(明日に誇れるまちづくり)

水辺のにぎわいづくりについては、砂遊び教室の開催や、「桜ノ宮ビーチフェスティバル」を大阪府や企業等と連携し開催することが出来た。区の魅力発信については、昨年度に引き続き「菜の花プロジェクト」や「壁面アートプロジェクト」を実施するとともに、YouTube、Twitter、Instagramを用い魅力資源の認知拡大に努めた。

未来の都島を担う人材育成については、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったことにより、学力・体力向上にかかる授業への支援や、学習支援・悩み相談を行う居場所づくりに順調に取り組むことができた結果、学校や参加者アンケートにおいて高い評価がなされ、いずれの取組も目標値を達成することができた。

(区役所力の強化)

区民の声が区政に反映される仕組みづくりについては、区民アンケートや区出前講座などを通じて、多様な区民意見やニーズの把握に取り組んだ。また、ツイッター、フェイスブック、LINEに加え、Instagramも活用し即時性を生かした情報発信に取り組んだことにより、区民アンケートにおいて、「区役所からの情報発信により区政への関心が高まった」と回答した割合は前年度より増加し目標達成を達成することができた。区政情報発信ツールである「広報誌」のリニューアルを行い、よりわかりやすい誌面作りに努めた。引き続き、読み手視点でわかりやすい区政情報の発信に取り組む。

区民が満足・納得できる区役所運営については、外部講師による接遇研修の実施や、各課横断職員で組成した「カイゼンチーム」による来庁者等に対するサービス向上に向けた様々な取組により、「来庁者等に対する窓口サービスの格付」は☆2つを獲得した。引き続き、職員の接遇スキルアップを図るとともに、窓口サービスの向上に向けた取組を進めていく。

解決すべき課題と今後の改善方向

「市政改革プラン3.1」の改革の柱である「地域活動協議会による自律的な地域運営の促進」について、人と人とのつながりの希薄化や、担い手不足など、解決すべき課題があると認識している。引き続き、地域に関わりの薄い住民参加の促進をはじめ、地域の実情に即した活動支援に取り組んでいく。

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向け、地域活動やイベント情報について、広報誌の連載やSNSなどを活用し、あらゆる機会を通じてタイムリーに発信することで、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、区民の意見やニーズの的確な把握に努めるなど、より効果的な区政運営に取り組んでいく。